行政経営改革プラン2025実績報告書（令和7年度分）

1　行政経営改革プラン2025の実績報告について

本市では、総合計画で定められたまちの未来像である「光・緑・人　輝くとよかわ」を実現するため、行政経営改革を行っています。

また、行政経営改革を着実に実施するための計画として、「行政経営改革プラン2025」を策定しました。

行政経営改革プラン2025は、令和3年度から令和7年度までの計画とし、具体的取組は、向こう3年間の計画を毎年ローリングにより策定します。

今回は、計画期間の5年目（最終年度）にあたる令和7年度の実績について報告します。なお、各取組みの詳細は、「具体的取組評価結果」に記載しています。



2　進捗度

行政経営改革プラン2025に掲載されている31件全ての取組みについて、「改革工程どおり」推移しております。

3　目標指標評価

目標指標評価で目標値を上回る取組み（◎評価）と下回る取組み（△評価）を抜粋しました。

評　価	取組件数
◎：目標値を上回る	１１
○：目標値を概ね達成した	１０
△：目標値を下回る	７
―：該当なし	３
計	３１

目標指標評価

目標値を上回る取組み

件名/目標値/実績値

◎町内会の負担軽減(P.4)/52→69【団体】

◎企業連携による生涯学習講座開催の促進(P.12)
/50→53【講座】

◎行政手続のオンライン化の推進(P.18)/560→849【件】

◎リモート接続環境整備(P.20)/2,200→2,272【回】

◎シティセールスの推進(P.24)/2,500→7,046【人】

◎とよかわ応援寄附金事業の推進(P.32)/480→595【品目】

◎企業誘致の推進(P.34)/1→4【件】

◎施設の見直し及び処分(P.40)/492,000→486,769【㎡】

◎公共施設適正配置計画におけるリーディング事業の推進(P.42)
/一宮地区複合施設整備工事、本庁舎基本設計完了・
分庁棟整備工事

◎定員適正化計画に係る取組みの推進(P.50)/1,267→1,274【人】

◎人財育成基本方針に係る取組みの推進(P.56)/77.0→79.7【%】

目標値を下回る取組み

件名/目標値/実績値

△AI等情報技術利用による業務効率化の推進(P.16)
/115→96【件】

△公共施設の長寿命化の推進(P.44)
/2,200,000→1,559,716【千円】

△組織の適正化(P.48)/60.0→45.8【%】

△財務事務に係るリスク管理の推進(P.52)/0→47【件】

△障害者活躍推進計画に係る取組みの推進(P.58)
/3.00→2.66【%】

△男性職員の育児休業取得率の上昇(P.60)/100→61.8【%】

△時間外勤務時間数の縮減(P.62)/5→2.61【%】

4　総合評価

総合評価でA評価の取組みとC評価の取組みを抜粋しました。

評価	取組件数
A	１０
B	１７
C	４
計	３１

総合評価

A評価の取組み

○町内会の負担軽減(P.4)

理由：町内会のICT化や負担軽減について、工程どおりに事業を進め、実績値も目標値を上回ったため。

○企業連携による生涯学習講座開催の促進(P.12)

理由：新たな分野への連携協議や受講者のニーズを捉えた見直しを行うことができ、実績値が目標値を上回ったため。

○行政手続のオンライン化の推進(P.18)

理由：オンライン化できた行政手続数が目標値を上回り、市民の利便性向上を図ることができたため。

○リモート接続環境整備(P.20)

理由：各種会議等のリモートに対応するため職員が主催・参加する環境の提供を継続することができたため。

○シティセールスの推進(P.24)

理由：広報大使のYouTube番組の配信や継続的な情報配信等により、SNS登録者が大幅に増加したため。

○とよかわ応援寄附金事業の推進(P.32)

理由：体験型ふるさと納税「現地決済型ふるさと納税」等を導入し、寄附者の選択肢と利便性の向上を図り、返礼品の品目数が目標値を上回ったため。

○企業誘致の推進(P.34)

理由：各種支援制度の認定企業件数が目標値を上回ったため。

○施設の見直し及び処分(P.40)

理由：施設の総延べ床面積について、目標値以上の縮減を達成できたため。

○公共施設適正配置計画におけるリーディング事業の推進(P.42)

理由：分庁舎等整備工事について、工事費縮減に向けた早期着手等により、車庫棟の供用開始を1年前倒しで実施できたため。

○定員適正化計画に係る取組みの推進(P.50)

理由：専門職を増員確保したことにより、計画値を上回ったため。

C評価の取組み

●組織の適正化(P.48)

理由：市民意識調査「行政サービスの向上」に関する満足の程度の問いに対する肯定的評価の割合が目標値を下回ったため。

●財務事務に係るリスク管理の推進(P.52)

理由：リスクの発現に対し再発防止に向けた協議を行ったが、不備が多数発生したため。

●障害者活躍推進計画に係る取組みの推進(P.58)

理由：法定雇用率を達成することはできたが、障害者活躍推進計画に定めた目標値には達しなかったため。

●時間外勤務時間数の縮減(P.62)

理由：時間外勤務時間は前年度と比べ縮減したが、縮減率2.61%と目標を下回ったため。

5　次年度以降の取組みについて

計画期間の5年目にあたる令和7年度については、31件の取組みのうち27件の取組みでB評価以上となり、目的達成に向けて順調に進んでいると言えます。しかし、前年度から評価を下げている取組みもあるため、さらなる事業の工夫や見直しが必要となっています。今年度の評価を以って本プランは終了となりますが、引き続き各課において取り組みを推進していきます。